

高橋 保議員



- (議案質疑)
- 1 中小企業等チャレンジ支援事業について
 - 2 電子商品券発行事業について

**地域に消費を呼び戻し
地域経済の再生を！**

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した電子商品券発行事業について、商品券の詳細と、消費者が行う手続きはどのように定められているのか。

答 今回発行しようとする電子商品券の販売額は1セット1万円、1人当たりの購入上限は5セットである。商品券は、飲食店限定と全店舗共通の2種類が購入額の半分ずつ発行される。飲食店限

定商品券には30パーセント、全店舗共通商品券には20パーセントのプレミアムが付与され、1セット1万円分を購入すれば、1万2千500円の利用ができる。

購入するには、事前にスマートフォンなどにアプリをダウンロードする必要があり、アプリから商品券の購入を申し込んだ後、コンビニ店頭払いで購入すると、25パーセントのプレミアムが付与された金額が即時にスマートフォンに反映される。利用する際は、取扱店舗に設置したQRコードを利用して支払うしくみで、取扱店舗は50店舗以上になると見込んでいる。



三好 和彦議員



- (議案質疑)
- 1 (仮称) ひと・夢・未来創造拠点複合施設整備事業について
 - (一般質問)

**市民と共に
拠点複合施設の整備を！**

問 こどもの国を新たな拠点となる複合施設として整備するに当たり、地元関係者への説明やパブリックコメントなどを通じて市民から寄せられた要望や意見の中に、貴重な税金を使用して整備することから費用対効果や今後の運営面について具体的に示してほしいとの声があるが、市民に対しての説明はどのタイミングでどのように行おうとしているのか。

答

新しい施設は、幅広い世代の市民などが集い、交流により人と人がつながり、新しい活動にチャレンジしていける拠点として整備しようとするものである。

これまで、こどもの国が立地・隣接する西条・神拝地区の関係者や、幼稚園・保育園、小・中学校の関係者に説明し、意見をいただくとともにパブリックコメントでも意見をいただいた。また、市内の全児童に對し、こどもの国の閉館とリニューアルをお知らせしたところである。

今後も市民とともに創る施設を目指して、適宜適切な情報発信に努めていきたい。



新たな複合施設に再編されるこどもの国

西条みらい
クラブ

御庄 秀樹議員



- (代表質問)
- 1 施政方針について
 - 2 施政方針の実現に向けた予算編成について

**活動人口を減少させない
ための取組とは？**

問 市長は施政方針で、人口減少が急速に進行し、今後は、市内在住者のみならず、移住者や関係人口を含めた活動人口を減少させないことが重要であると述べられた。このような中、活動人口という概念がこれからの人口減少対策の重要な考え方になると思うが、活動人口を減少させないために、どのような取組を考えているのか。